

ELMO

雲台操作卓 DCC-Q4

取扱説明書

ELMO 株式会社 エルモ社

本社	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎(052)811-5131	〒467-8567
東京支店	東京都港区三田3丁目7番16号	☎(03)3453-6471	〒108-0073
名古屋支店	名古屋市瑞穂区明前町6番14号	☎(052)824-1571	〒467-8567
大阪支店	大阪市中央区東高麗橋2番4号	☎(06)6942-3221	〒540-0039
九州支店	福岡市博多区下川瑞町10番10号	☎(092)281-4131	〒812-0027
北海道営業所	札幌市北区北12条西2丁目4番地	☎(011)717-7221	〒001-0012
仙台営業所	仙台市青葉区中央4丁目10番14号 エノトセーフビル	☎(022)266-3255	〒980-0021
広島営業所	広島市中区小町5番8号 ドルチェ2階	☎(082)248-4800	〒730-0041

ご使用に先だち取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくために — 必ずお守りください


この「取扱説明書」および製品（本機）への表示では、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。


次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。


警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

 △は、注意（警告を含む）を示します。
具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は、「感電注意」を示します。

 ⊙は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な注意内容は、⊙の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は、「分解禁止」を示します。

 ●は、強制（必ずすること）を示します。
具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は、「ACアダプターをコンセントから抜く」を示します。

警告

万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。



注意 プラグを抜く

万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
(特にお子様のいるご使用環境ではご注意ください。)



プラグを抜く

操作できないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く

万一、機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを抜く

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に、交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意

機器を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。



分解禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



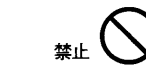
禁止

ACアダプターは表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

機器に水や異物が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。







禁止

電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。（コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。）



禁止

⚠ 警告	
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。 コードが破損して、火災・感電の原因となります。	禁止 
風呂場では使用しないでください。 火災・感電の原因となります。	禁止 
ACアダプターの刃や取付面にほこりが付着している場合は、ACアダプターを抜き、ほこりをとってください。 絶縁低下により、火災の原因となります。	注意 
雷が鳴り出したら、接続ケーブルやACアダプターには触れないでください。 感電の原因となります。	接触禁止 

⚠ 注意	
移動させる場合は、電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外したことを確認の上、移動してください。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	プラグを抜く 
お手入れの際は、安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。 感電の原因となることがあります。	注意 
機器を長時間、ご使用にならないときは、安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。 火災の原因となることがあります。	プラグを抜く 
ACアダプターを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。 コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずACアダプター本体をもって抜いてください。	禁止 
キャスター付きの台に機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。 動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	禁止 
湿気やほこりの多い場所に置かないでください。 火災・感電の原因となることがあります。	禁止 
調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かないでください。 火災・感電の原因となることがあります。	禁止 
この機器に乗ったり、重いものを乗せないでください。特に、小さなお子様のいるご使用環境ではご注意ください。 倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。	禁止 
電源コードを熱器具に近づけないでください。 コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	禁止 
ぬれた手でACアダプターおよび接続コードを抜き差ししないでください。 感電の原因となることがあります。	禁止 

使用上のご注意

- この製品には、必ず付属のACアダプターをご使用ください。
他のACアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- 本機は日本国内用に作られたものです。必ずAC100V、50Hzまたは60Hzでお使いください。
電源の異なる外国ではご使用になれません。
- 保管にあたっては直射日光のあたる所、暖房器具の近くに放置しないでください。
変色、変形、故障の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所、潮風の当たる場所、振動の多い所には置かないでください。
使用上の環境条件は次のとおりです。
温度：0℃～40℃ 湿度：30%～90%以下（結露しないこと）
- 本機の清掃は、乾いたやわらかい布で拭いてください。
シンナーやベンジンなど揮発性のものは使用しないでください。

用途

本製品はプログラム型ドームカメラQDN401を操作するための装置です。
デジタルマルチプレクサVC80Mに接続することによって、QDN401をコントロールすることが可能です。

主な特長

マニュアル操作

- ジョイスティックによるパン／チルト操作、およびパン・チルト同時操作が可能
- ジョイスティックの角度によりスピード調整が可能
- ワンタッチ操作でプリセットポジションに移動可能

シーケンス監視

- 多地点の監視ポジションを自動監視
- シーケンス監視ポジションの監視時間の設定可能
- 時間設定：1～99秒（シーケンス運転時の停止時間）

スイング監視

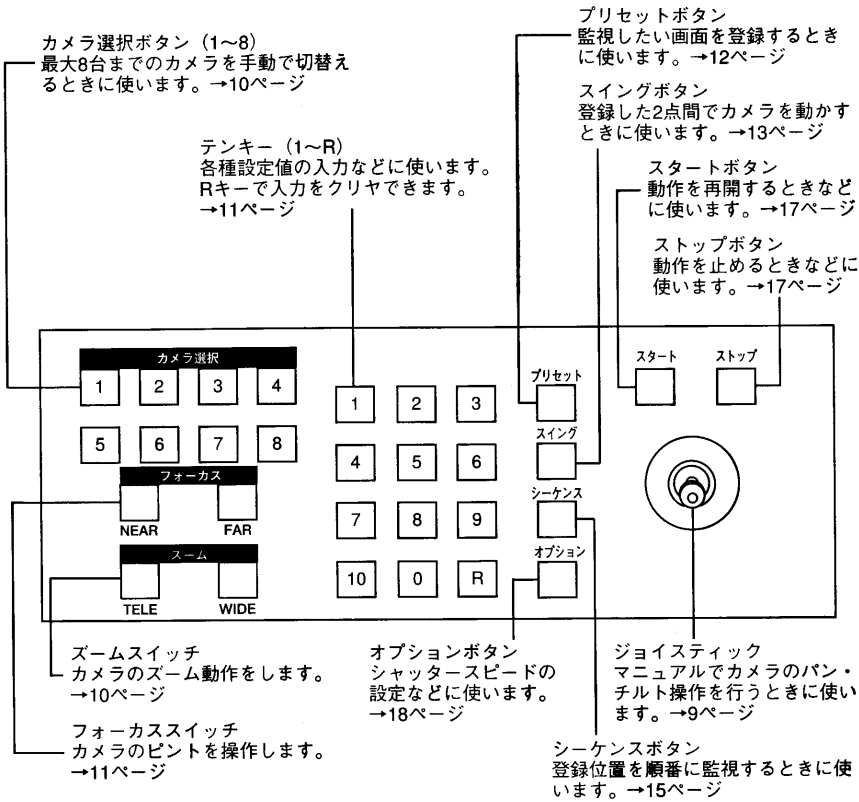
- 2地点間をパン方向またはチルト方向に往復する自動監視可能

もくじ

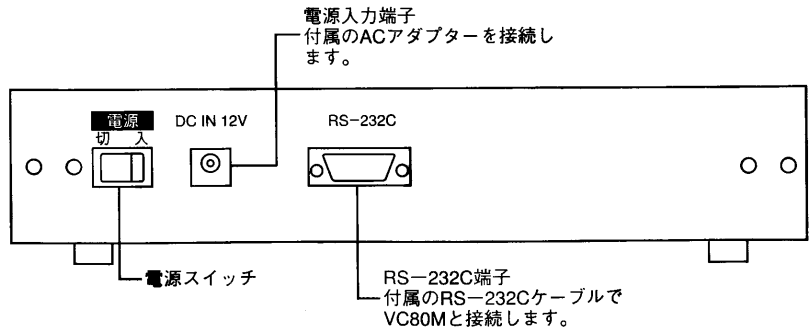
1. 各部の名称	7
●操作パネル	7
●背面パネル	7
2. 接続	8
●本機とVC80Mとの接続例	8
●RS-232Cケーブルの結線	8
3. 操作方法	9
1) マニュアル操作	9
2) プリセットポジションの設定	12
3) スイング監視	13
4) シーケンス監視	15
5) 監視スタート、ストップ	17
6) カメラのリセット	17
7) カメラのセットアップ	18
8) DCC-Q4を工場出荷時設定に戻す	20
9) VC80Mとの操作上の注意事項	20
4. 故障かな？と思ったら	21
5. 仕様	21
6. 付属品	21
7. 操作早見表	22

1. 各部の名称

● 操作パネル



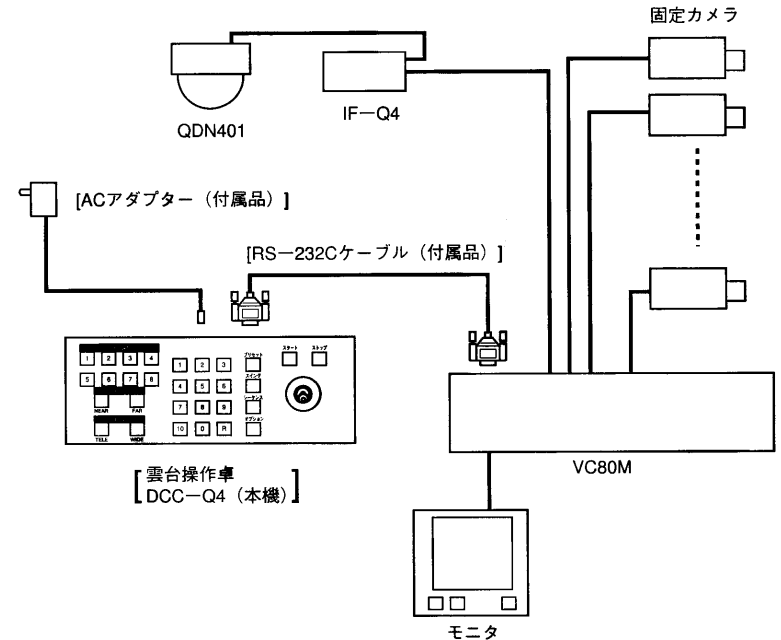
● 背面パネル



2. 接続

注意： 本機と他の機器との接続は、必ずすべての機器の電源を切ってから行ってください。

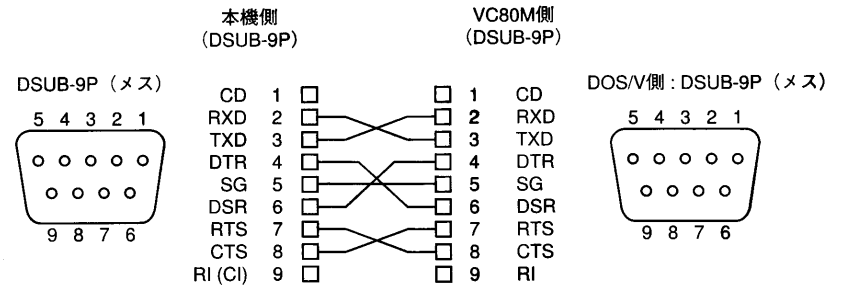
● 本機とVC80Mとの接続例



● RS-232Cケーブルの結線

本機とVC80M間を、付属のRS-232Cケーブルで接続してください。

注意： RS-232Cケーブルは、コネクタ止めネジで確実に固定してください。



3. 操作方法

デジタルマルチプレクサVC80Mに接続されているすべてのカメラの電源投入後、1分たってから本機DCC-Q4の電源を入れてください。

QDN401が接続されている番号のカメラ選択ボタンを押すと、カメラが選択されてボタンが点灯し、操作が可能になります。(詳しくは、次ページ「●カメラ選択」参照してください。)

注意：DCC-Q4の各操作、設定を行っている間にVC80Mの操作を行わないでください。

DCC-Q4の設定、登録が中断される場合があります。

【1】マニュアル操作

●パン・チルト

パン・チルト操作は、すべてジョイスティックにて行います。

パン：カメラを水平方向に動かすこと。

チルト：カメラを上下方向に動かすこと。

① チルト上方向移動

ジョイスティックを上方に倒すと、カラーモニタの画面の上方が映るように、カメラが移動します。

② チルト下方向移動

ジョイスティックを手前に倒すと、カラーモニタの画面の下方が映るように、カメラが移動します。

③ パン左方向移動

ジョイスティックを左に倒すと、カラーモニタの画面の左側が映るように、カメラが移動します。

④ パン右方向移動

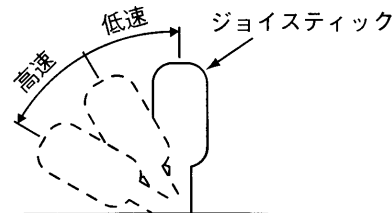
ジョイスティックを右に倒すと、カラーモニタの画面の右側が映るように、カメラが移動します。

⑤ パン・チルト同時移動

ジョイスティックを斜めに倒すことにより、パン・チルトの同時操作ができます。カラーモニタの画面の斜め方向が映るように、カメラが移動します。

●速度

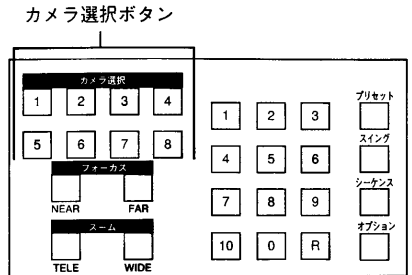
パン・チルトの速度はジョイスティックを倒す角度に応じて、段階的に高速になります。



●カメラ選択

カメラ選択ボタンを押すと、その番号のカメラからの映像がVC80Mのモニタ2に映し出されます。接続されているカメラがQDN401の場合、カメラ選択ボタンが点灯し、操作が可能になります。

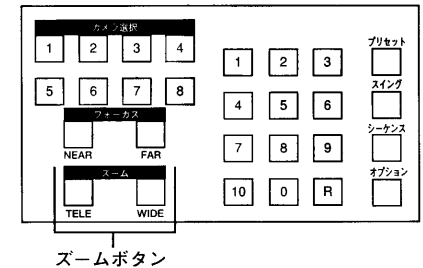
固定カメラが接続されているか、もしくはカメラが接続されていない場合は、映像の切換え(カメラ選択)のみ可能となりますが、カメラボタンは点灯しません。



●ズーム

ズームボタンの[TELE]を押すと、映像のサイズが徐々に大きくなります。

[WIDE]を押すと、映像のサイズが徐々に小さくなります。



●ズーム速度の加速機能設定

ズーム速度の加速機能の設定ができます。ズーム速度の加速機能の設定を「有効」に設定した場合、ズームボタンを押し続けるとズーム速度が高速になります。工場出荷時のズーム速度の加速機能は「無効」に設定されています。

① オプションボタンを押します。

(オプションボタンが点灯します。)

② テンキーの[7]キーを押します。

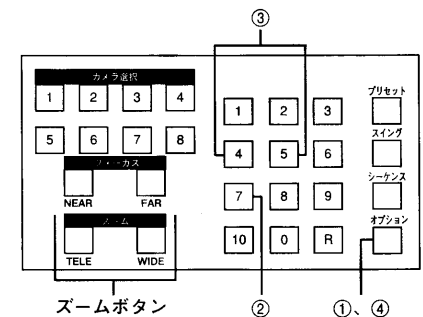
③ 設定したいズーム操作の加速設定のテンキー [4] または [5] のテンキーを押します。

4:有効 5:無効

④ オプションボタンを押します。

(電子音が鳴ってオプションボタンが消灯し、ズーム速度の加速機能の有効または無効が設定されます。)

有効:「ピピッ」 無効:「ピーー」

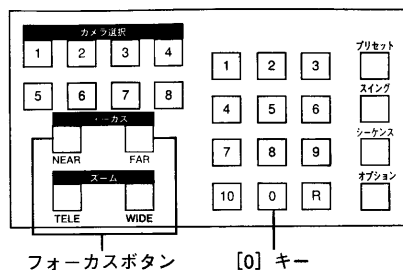


●フォーカス

フォーカスボタンの [NEAR] を押すと、ピント面が近くなります。[FAR] を押すと、ピント面が遠くなります。

ワンショットフォーカス

[0] キーを単独で押して指を離すとピッと鳴り、10秒間オートフォーカス機能が働きます。



●テンキーの数字の押し方

[1] から [9] までは、そのままテンキーを押します。

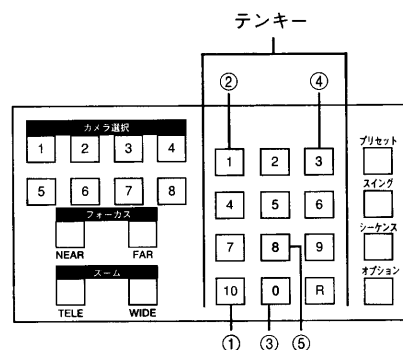
[11] から [99] までは、[10] キーを押してから続けて2回テンキーを押します。

(例1) [10] を押したい場合

- ① [10] キーを押します。
- ② [1] キーを押します。
- ③ [0] キーを押します。

(例2) [38] を押したい場合

- ① [10] キーを押します。
- ④ [3] キーを押します。
- ⑤ [8] キーを押します。

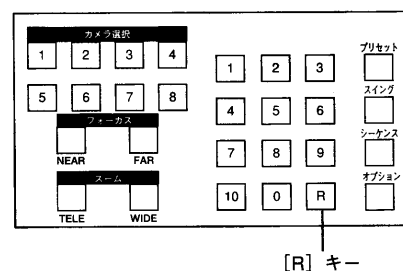


●キー操作を間違えた場合

キー入力の途中で操作を間違えた場合は、[R] キーを押します。それまでに入力したキー操作がすべてキャンセルされます。

●180° フリップ

[R] キーを押します。カメラは最高速で180°パン動作します。



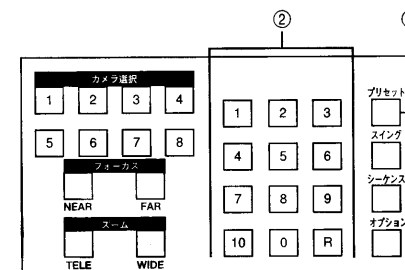
【2】プリセットポジションの設定

あらかじめ監視したい位置を、プリセットポジションとして設定できます。プリセットポジションは、カメラ1台あたり最大64個所設定できます。

●プリセットポジションの設定方法

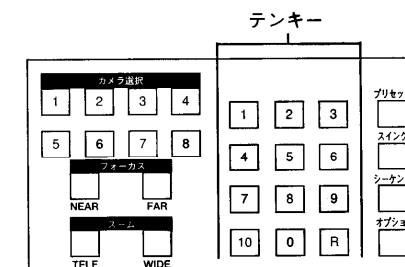
ジョイスティックで監視したい画面に移動して、ズームボタンおよびフォーカスボタンで見た画面に調整します。

- ① プリセットボタンを押します。
(プリセットボタンが点灯します。)
- ② プリセットポジションにするテンキーを押します。
(「ピッ」という電子音が鳴ってプリセットボタンが消灯し、プリセットポジションが設定されます。)



●プリセットポジションへの移動

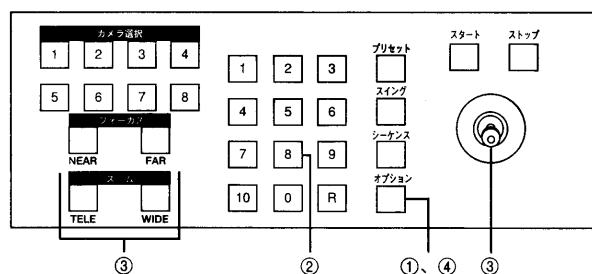
プリセットポジションへ移動したい場合は、プリセットされたテンキーのキー番号を押すだけで移動できます。



●パン・チルト動作およびズーム動作のコマ送りモード設定、解除

ジョイスティックとズーム操作によりパンまたはチルト方向、TELEまたはWIDE方向に微量移動するコマ送りモードです。

- ① オプションボタンを押します。(オプションボタンが点灯します。)
- ② テンキーの [8] キーを押します。([「ピッ」]という電子音が鳴ってコマ送りモードが設定されます。)
- ③ ジョイスティックをパンまたはチルト方向に最大に傾けた後、中立位置に戻すことで微量移動させます。(この操作を繰り返します。)
また、ズームスイッチを押すことで微量、サイズが拡大縮小します。
- ④ オプションボタンを押します。
(オプションボタンが消灯し、コマ送りモードが解除されます。)

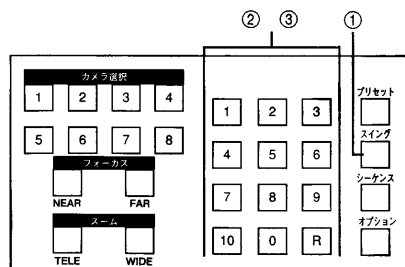


【3】スイング監視

カメラは2つのプリセットポジション間を、パンまたはチルト方向に往復動作するスイング監視ができます。

2つのプリセットポジション間のチルト方向の角度差が20°未満の場合、カメラはパン動作(パンスイング)します。20°以上の場合、カメラはチルト動作(チルトスイング)します。パンスイングはプリセットポジションの1点目から2点目にパン右回転、2点目から1点目にパン左回転する往復動作を繰り返します。パンスイングの往復動作の範囲は360°未満です。プリセットポジションの1点目と2点目の入力順の違いによりパン動作範囲は逆になります。パンスイング中はチルト動作、チルトスイング中はパン動作のマニュアル操作ができます。スイング監視においては、1点目のプリセットポジションのブライト値と逆光補正の設定が反映されます。

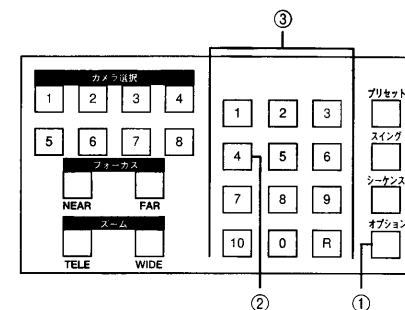
- ① スイングボタンを押します。
(スイングボタンが点灯します。)
- ② プリセットされた1点目のテンキーを押します。
- ③ プリセットされた2点目のテンキーを押します。
([「ピッ」]という電子音が鳴って、スイング監視を開始します。)



●スイング速度の設定

スイング動作の速度を変更できます。工場出荷時のオリジナル値は6 (3.0度/秒) に設定されています。

- ① オプションボタンを押します。
(オプションボタンが点灯します)
- ② テンキーの [4] キーを押します。
- ③ 設定したいスイングスピードのテンキーを押します。
(設定値1~20:右表を参照)
([「ピッ」]という電子音が鳴ってオプションボタンが消灯し、スイングスピードが設定されます。)

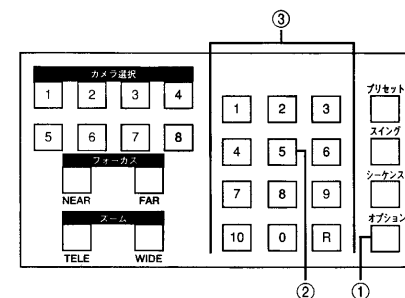


設定値	QDN401	
	パンスピード	チルトスピード
1	0.8 (度/秒)	0.8
2	1.0	1.0
3	1.5	1.5
4	2.0	2.0
5	2.5	2.5
6	3.0	3.0
7	3.5	3.5
8	4.0	4.0
9	4.5	4.5
10	5.0	5.0
11	6.0	6.0
12	7.0	7.0
13	8.0	8.0
14	9.0	9.0
15	10.0	10.0
16	20.0	20.0
17	30.0	30.0
18	90.0	90.0
19	160.0	140.0
20	240.0	180.0

●スイング動作の待ち時間の設定

スイング動作の待ち時間(プリセットポジションでの停止時間)を変更できます。

- ① オプションボタンを押します。
(オプションボタンが点灯します)
- ② テンキーの [5] キーを押します。
- ③ 設定したいスイングの待ち時間のテンキーを押します。(0~99秒) ([「ピッ」]という電子音が鳴ってオプションボタンが消灯し、スイングの待ち時間が設定されます。)

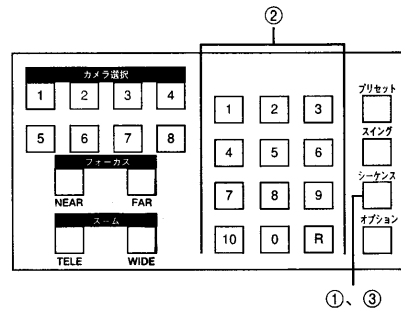


【4】シーケンス監視

プリセットポジションを順番に最大64ポジション監視することができます。

シーケンス監視：登録されたプリセットポジションを順次呼び出して自動監視すること。

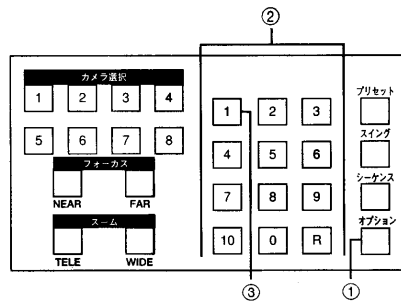
- ① シーケンスボタンを押します。
(シーケンスボタンが点灯します。)
- ② 監視したいプリセットポジションのテンキーを順番に押します。
- ③ シーケンスボタンを押します。([「ピッ」]という電子音が鳴って、シーケンス監視を開始します。)



●シーケンス速度の設定

シーケンス動作の速度を変更できます。
工場出荷時のオリジナル値は16 (20度/秒) に設定されています。

- ① オプションボタンを押します。
(オプションボタンが点灯します。)
- ② テンキーの [1] キーを押します。
- ③ 設定したいシーケンススピードのテンキーを押します。
(設定値1~20：右表を参照)
([「ピッ」]という電子音が鳴ってオプションボタンが消灯し、シーケンススピードが設定されます。)

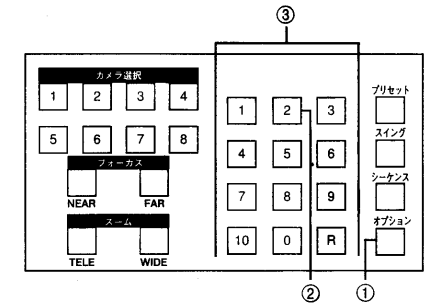


設定値	QDN401	
	パンスピード	チルトスピード
1	0.8 (度/秒)	0.8
2	1.0	1.0
3	1.5	1.5
4	2.0	2.0
5	2.5	2.5
6	3.0	3.0
7	3.5	3.5
8	4.0	4.0
9	4.5	4.5
10	5.0	5.0
11	6.0	6.0
12	7.0	7.0
13	8.0	8.0
14	9.0	9.0
15	10.0	10.0
16	20.0	20.0
17	30.0	30.0
18	90.0	90.0
19	160.0	140.0
20	240.0	180.0

●シーケンス動作の待ち時間の設定

シーケンス動作の待ち時間 (プリセットポジションでの停止時間) を変更できます。

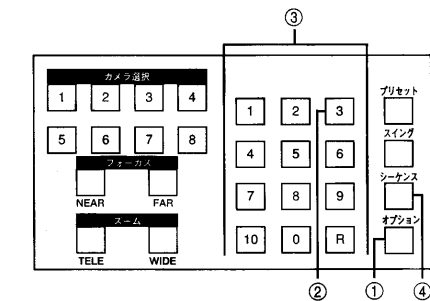
- ① オプションボタンを押します。
(オプションボタンが点灯します。)
- ② テンキーの [2] キーを押します。
- ③ 設定したいシーケンスの待ち時間のテンキーを押します。(1~99秒)
([「ピッ」]という電子音が鳴ってオプションボタンが消灯し、シーケンスの待ち時間が設定されます。)



●シーケンスメモリの選択

シーケンスメモリの選択を1~6に切替えることにより、カメラ毎に6種類のシーケンス監視動作を保存し利用することができます。
各カメラは6つのシーケンスメモリを持っており、選択中のシーケンスメモリは順次新しいシーケンス監視情報に更新されます。
カメラの電源がOFFされてもシーケンスメモリに蓄積された情報は消去されません。工場出荷時のカメラのシーケンスメモリの設定は、[1] となっています。

- ① オプションボタンを押します。
(オプションボタンが点灯します。)
- ② テンキーの [3] キーを押します。
- ③ 設定したいシーケンスメモリのテンキーを押します。(1~6)
([「ピッ」]という電子音が鳴ってオプションボタンが消灯し、シーケンスメモリが選択されます。)



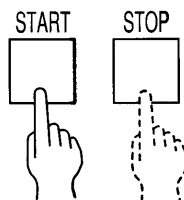
●シーケンス動作の再開

- ④ シーケンスボタンを2回押します。
([「ピッ」]という電子音が鳴ってシーケンス監視動作を開始します。)

【5】監視スタート、ストップ

スイング監視またはシーケンス監視中に動作を中止する場合は、ストップボタンを押します。

また、動作を再開するときには、スタートボタンを押します。



【6】カメラのリセット

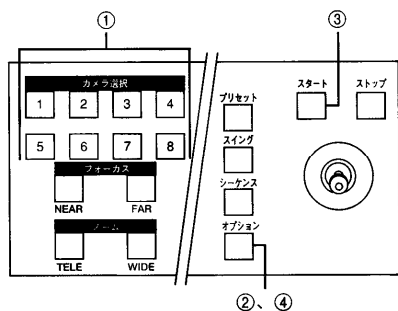
カメラを電源投入後の状態にリセットします。

カメラのリセットにより、カメラがロックしたときに復帰できる場合があります。

(※登録したプリセット位置等は消えません。)

●特定のカメラをリセット

- ① リセットするカメラを選択します。
- ② オプションボタンを押します。
(オプションボタンが点灯します。)
- ③ スタートボタンを押します。
- ④ オプションボタンを押します。
(「ピピッ」という電子音が鳴ってオプションボタンが消灯し、カメラがリセットされます。)



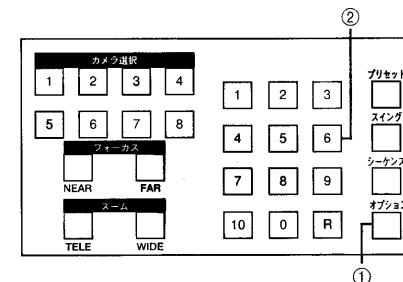
注意：カメラのリセットやカメラへの電源投入により、カメラの初期動作をさせたときは、カメラの初期動作が終了し映像がモニターに映し出された後、監視するカメラ選択ボタンを一度押してから操作をしてください。

【7】カメラのセットアップ

●シャッタースピードの設定

フリッカー（カラーモニターの画面のチラつき）が気になる場合（東日本の電源周波数50Hz地域で使用する場合において）は、下記の操作でシャッタースピードが固定化され、フリッカーを軽減することができます。シャッタースピードをオートに戻すときは、再度同じ操作を行います。

- ① オプションボタンを押します。
(オプションボタンが点灯します。)
- ② テンキーの [6] キーを押します。(電子音が鳴ってオプションボタンが消灯し、シャッタースピードが固定またはオートに設定されます。)
シャッタースピード
オート：「ピピッ」 固定：「ピペー」



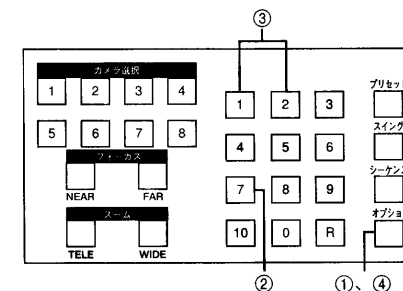
●オートフォーカスの設定と解除

ジョイスティックまたはズームスイッチの操作終了直後に10秒間オートフォーカスが働きます。

オートフォーカス機能の有効または無効を設定できます。

工場出荷時のオートフォーカスの設定は「有効」に設定されています。

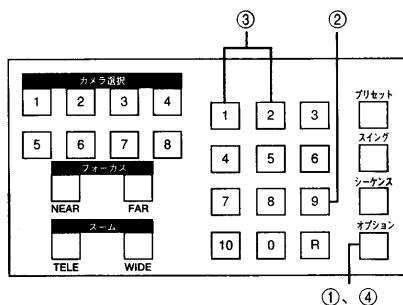
- ① オプションボタンを押します。
(オプションボタンが点灯します。)
- ② テンキーの [7] キーを押します。
- ③ 設定したいワンショットオートフォーカスのテンキー [1] または [2] のテンキーを押します。
ワンショットオートフォーカス
1：有効 2：無効
- ④ オプションボタンを押します。
(電子音が鳴ってオプションボタンが消灯し、オートフォーカスの有効または無効が設定されます。)
有効：「ピピッ」 無効：「ピペー」



●逆光補正機能の設定と解除

逆光補正の有効または無効を設定できます。各々のプリセットポジションの設定時には、各々先に設定した逆光補正の有効または無効の設定内容が保存されます。2点間を往復動作するスイング動作においては、1点目のプリセットポジションの逆光補正の設定が動作中反映されます。工場出荷時の逆光補正は「無効」に設定されています。

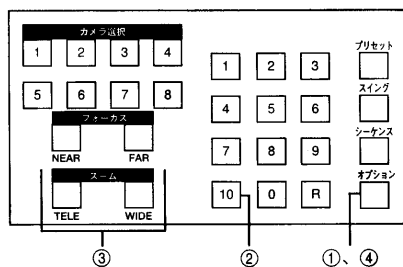
- ① オプションボタンを押します。
(オプションボタンが点灯します。)
- ② テンキーの [9] キーを押します。
- ③ 設定したい逆光補正のテンキー [1] または [2] のテンキーを押します。
逆光補正機能
1：有効 2：無効
- ④ オプションボタンを押します。
(電子音が鳴ってオプションボタンが消灯し、逆光補正の有効または無効が設定されます。)
有効：「ビビッ」 無効：「ビピー」



●ブライト (明るさ) コントロールの設定

ブライトを1段階ずつ調整することができます。各々のプリセットポジションの設定時には、各々先に設定したブライトの設定内容が保存されます。2点間を往復動作するスイング動作においては、1点目のプリセットポジションのブライト設定値が動作中反映されます。

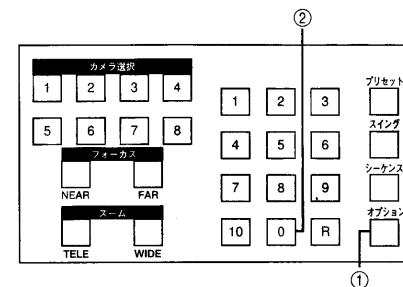
- ① オプションボタンを押します。
(オプションボタンが点灯します。)
- ② テンキーの [10] キーを押します。
- ③ 設定したいブライト (明るさ) にズームボタンの [WIDE] または [TELE] のボタンで設定します。ブライトコントロール
[WIDE]：明 [TELE]：暗
- ④ オプションボタンを押します。
(電子音が鳴ってオプションボタンが消灯し、ブライトコントロールが設定されます。)



●ブライト (明るさ) のデフォルト設定

ブライトの設定値を工場出荷時のデフォルト値に戻すことができます。

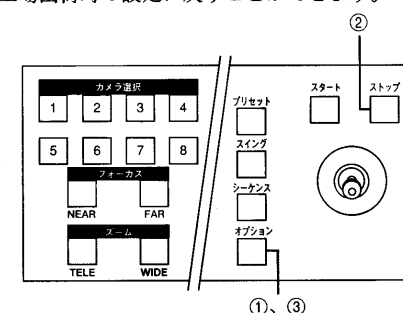
- ① オプションボタンを押します。
(オプションボタンが点灯します。)
- ② テンキーの [0] キーを押します。(電子音が鳴ってオプションボタンが消灯し、ブライトの設定が工場出荷時のデフォルト値に戻ります。)



【8】DCC-Q4を工場出荷時設定に戻す

DCC-Q4に登録されているすべての内容を工場出荷時の設定に戻すことができます。

- ① オプションボタンを押します。
(オプションボタンが点灯します。)
- ② ストップボタンを押します。
- ③ オプションボタンを押します。「ピーピー」という電子音が鳴ってオプションボタンが消灯し、工場出荷時の設定に戻ります。)



【9】VC-80Mとの操作上の注意事項

●VC-80Mがアラーム動作した場合

本機でQDN401を操作中にVC80Mがアラーム動作した場合、QDN401が誤動作する場合があります。誤動作を停止させ操作を再開するには、そのカメラの選択キーを押すか、選択キーを押した後にストップボタンを押してください。本機の操作が再開できます。スイングまたはシーケンス動作中のQDN401がアラーム動作した場合、それらの動作を停止してプリセットポジション1へ移動します。このためアラーム動作時に移動させたいポジションをあらかじめプリセット1に登録しておく必要があります。アラーム動作終了後、以前のスイングまたはシーケンス動作を再開するには、カメラ選択ボタンを押してからスタートボタンを押します。

●VC80Mで画面切替えを行った場合

VC80Mのフロントパネルでモニタ2の画面切替えを行った場合、本機で操作を再開するには、カメラ選択ボタンを押してから、操作を行ってください。

●本機とVC80M間で通信エラー (誤動作) が発生した場合

本機でQDN401を連続して操作または設定中に通信エラー (誤動作) が発生する場合があります。その場合は1分程度間隔をあけてください。通信エラーが解除となり再操作可能となります。または、VC80Mの電源を再投入してから操作を再開してください。

4. 故障かな?と思ったら

現象	この点を確認してください
操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ・正しくケーブルが接続されていますか。 ・ACアダプターが壁側コンセントからはずれていませんか。 ・ACアダプターの出力プラグが、本体電源受口にしっかり差し込まれていますか。 ・電源スイッチが入っていますか。 ・カメラ選択ボタンは押されていますか。
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラ選択ボタンは押されていますか。 ・選択されたカメラ番号にカメラは接続されていますか。
画像にフリッカーが出る	<ul style="list-style-type: none"> ・50Hzで点灯している放電管の光が画面に入っていないませんか。 シャッタースピードを「固定」にすると、軽減される場合があります。

以上のことをお確かめのうえ、異常があるときは、お買い上げの販売店か最寄りの弊社支店・営業所までご相談ください。

5. 仕様

項目	内容		
電源	DC12V	500mA	
消費電力	1.6W		
外形寸法	幅：315mm 高さ：88mm 奥行：146mm		
質量	1.7kg (本体のみ)		
外部制御端子	RS-232C	DSUB 9Pコネクタ オス	×1

注意：仕様は予告なしに変更することがありますが、ご了承ください。

6. 付属品

名称	数量
RS-232Cケーブル	1
ACアダプター	1
DCC-Q4取扱説明書	1
保証書	1

7. 操作早見表

操作方法	機能
テンキー [0]	ワンショットオートフォーカスの実行
テンキー [1] ~ [64]	プリセットポジションへの移動
プリセット + テンキー	プリセットポジションの設定
スイング + テンキー + テンキー	スイング監視の設定と実行
シーケンス + テンキー + シーケンス	シーケンス監視の監視と実行
[R]	180° フリップ
オプション + スタート + オプション	現在選択しているカメラをリセット
オプション + ストップ + オプション	コントローラを工場出荷時設定に戻す
オプション + 0	ブライトと逆光補正の設定と解除
オプション + 1 + テンキー	シーケンス速度の設定
オプション + 2 + テンキー	シーケンス待ち時間の設定
オプション + 3 + テンキー [1~6]	シーケンスメモリの選択
オプション + 4 + テンキー	スイング速度の設定
オプション + 5 + テンキー	スイング速度の設定
オプション + 6	フリッカーレスのオン・オフ
オプション + 7 + 1 または 2 + オプション	ワンショットオートフォーカスの設定 1:有効 2:無効
オプション + 7 + 4 または 5 + オプション	ズーム速度の加速機能設定 4:有効 5:無効
オプション + 8 + ジョイスティック または ズーム + オプション	パン・チルトまたはズーム動作のコマ送り モードの設定・解除
オプション + 9 + 1 または 2 + オプション	逆光補正の設定 1:有効 2:無効
オプション + 10 + ズーム + オプション	ブライトコントロールの設定